



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 川辺株式会社

上場取引所 東

コード番号 8123 URL <https://www.kawabe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 有田 二郎

TEL 03-3352-7110

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,682	7.2	253		194		258	
2021年3月期第3四半期	8,279	27.4	212		151		219	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 255百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 339百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	141.85	
2021年3月期第3四半期	120.26	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,477	6,132	49.1
2021年3月期	12,546	6,387	50.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 6,132百万円 2021年3月期 6,387百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				0.00	0.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,942	3.1	159		69		142		77.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	1,861,000 株	2021年3月期	1,861,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	35,365 株	2021年3月期	35,315 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	1,825,656 株	2021年3月期3Q	1,825,873 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(収益認識基準)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)における国内経済は、上半期においては新型コロナウイルス感染症再拡大による影響で厳しい状況が続きましたが、10月以降はワクチン接種の進行に伴い、感染者数の減少や緊急事態宣言の解除等により緩やかな回復基調に転じ、消費回復の兆しが見られました。

小売業界におきましては、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が断続的に発出され、対象地域も徐々に拡大されたことによる店舗の営業時間短縮や売場の営業自粛などが大きく影響した結果、期間全体を通して累計では昨年度に続き極めて厳しい状況となりました。

当社グループの主要販路である百貨店においては、外出自粛による客数減や店舗休業、イベント中止などの影響を受け、長く売上低迷が続きましたが、コロナ感染者数減少を背景に入店客数増、外出機運や消費意欲の高まりにより、年末商戦は盛り上がりを見せ回復傾向を示しました。

このような状況下において、当社グループは、当期の重点課題として掲げている新規販路の開拓、EC事業の拡大、収益の改善、マーケティング活動・広報活動強化、SDGsの取り組み、の5つを更に推進し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みを継続し、在宅勤務や時差出勤等の柔軟な勤務体制、WEB会議システムの活用等の対応策を講じ、従業員、取引先、顧客への影響の最小化に努めつつ積極的に営業活動を進めてまいりました。

また事業継続の観点から引き続き、経費削減、投資の見直し等の取り組みを積極的に行うとともに物流センターの稼働率低下に伴い、勤務体制の見直しを行い経費抑制に努め今期の計画達成に向けて取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高76億82百万円(前年同期比92.8%)、営業損失2億53百万円(前年同期営業損失2億12百万円)、経常損失1億94百万円(前年同期経常損失1億51百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億58百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失2億19百万円)となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

## 身の回り品事業

身の回り品事業につきましては、重点施策である新規販路開拓を積極的に行い、雑貨専門店の口座開設、新たなイベントへの参加及び自動販売機導入等の既存以外のマーケット獲得に努めて一定の成果を上げることが出来ました。

主要取引先となる百貨店及び直営店に関しましては、コロナウイルス感染により外出自粛による客数減などの影響を受け、上半期については売上低迷が続きましたが、10月以降は緊急事態宣言解除に伴い集客が回復し、年末商戦及びクリアランスの初動は、店頭売上も堅調に推移しました。

しかしながら9月までの売上減の影響が大きくその結果、身の回り品事業全体の売上は前年比92.4%となりました。

ハンカチーフにつきましては、オリジナル商品開発販売、新規コンテンツの販売等、積極的に取り組みましたが、ギフトニーズの減少や在宅勤務の増加等により、ハンカチーフ需要の減少が影響を及ぼしたことに加え、昨年度好調に推移した当社においてハンカチーフのカテゴリーに分類されるマスクの売上の減少が大きく影響し、売上は前年比88.7%と厳しい結果となりました。

スカーフにつきましては、春夏スカーフ市場の繁忙期である母の日需要を中心に、売上が構築することができ、マフラーの立ち上がり時期の9月度に行った積極的なイベント開催の効果もあり、秋冬商材につきましては、防寒商材が好調に推移した結果、スカーフ・マフラーの売上は前年比114.4%となりました。

タオル・雑貨につきましては、前半はTV通販・EC事業を中心に巣ごもり需要の売上が伸びましたが、来店客数の減少等に伴う直営店不振が大きく影響し、売上は前年比91.1%となりました。

#### フレグランス事業

フレグランス事業につきましては、コロナ禍に於ける消費動向の変化、及び新規ブランドの導入の効果もあり、百貨店及び直営店販路においては、売上が前年を大きく上回り好調に推移したものの、他販路での不調が大きく影響し、全体としては前年比95.3%となりました。

全事業といたしましては、前年同期と比べ、売上高は減収となりました。また、売上総利益、営業損益、経常損益についても減益となり、前年同期に計上した投資有価証券売却益や早期退職金の影響及びグループ会社全体の持続化給付金等の助成金減少の結果、親会社株主に帰属する四半期純損益は減益となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期における「資産合計」は、前連結会計年度末の125億46百万円から124億77百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の減少によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ1億86百万円増加し、63億45百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少し、61億32百万円となりました。

この結果、当第3四半期における総資産は、前連結会計年度末の125億46百万円から124億77百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、本日同時公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	908,879	1,101,936
受取手形及び売掛金	2,161,670	2,074,392
商品及び製品	3,647,948	3,489,755
仕掛品	67,984	93,369
原材料及び貯蔵品	183,743	179,955
その他	292,593	304,465
貸倒引当金	△4,332	△2,665
流動資産合計	7,258,488	7,241,208
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	812,479	810,570
工具、器具及び備品（純額）	79,082	65,814
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	93,449	84,453
有形固定資産合計	2,084,735	2,060,562
無形固定資産	234,043	228,452
投資その他の資産		
投資有価証券	519,412	550,439
投資不動産（純額）	1,633,183	1,605,403
その他	816,462	791,342
投資その他の資産合計	2,969,058	2,947,185
固定資産合計	5,287,837	5,236,200
資産合計	12,546,326	12,477,409

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,811,499	1,278,457
短期借入金	2,374,848	3,478,056
未払法人税等	36,533	32,250
賞与引当金	22,686	-
その他	969,391	598,729
流動負債合計	5,214,959	5,387,493
固定負債		
長期借入金	340,096	323,541
退職給付に係る負債	415,997	430,307
資産除去債務	60,738	59,728
その他	126,870	144,332
固定負債合計	943,702	957,908
負債合計	6,158,662	6,345,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	3,055,496	2,796,524
自己株式	△54,547	△54,598
株主資本合計	6,492,016	6,232,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△118,194	△109,024
繰延ヘッジ損益	5,388	745
為替換算調整勘定	14,711	22,101
退職給付に係る調整累計額	△6,257	△14,808
その他の包括利益累計額合計	△104,352	△100,986
純資産合計	6,387,664	6,132,007
負債純資産合計	12,546,326	12,477,409

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,279,969	7,682,615
売上原価	5,304,962	4,889,997
売上総利益	2,975,007	2,792,618
販売費及び一般管理費	3,187,977	3,046,445
営業損失(△)	△212,969	△253,826
営業外収益		
受取利息	58	56
受取配当金	16,265	7,735
投資不動産賃貸料	92,088	93,395
その他	42,212	46,036
営業外収益合計	150,625	147,224
営業外費用		
支払利息	13,820	20,645
不動産賃貸費用	54,845	51,732
持分法による投資損失	14,933	13,585
その他	5,420	2,042
営業外費用合計	89,020	88,006
経常損失(△)	△151,365	△194,609
特別利益		
固定資産売却益	45	3
投資有価証券売却益	157,569	-
特別利益合計	157,614	3
特別損失		
固定資産除売却損	2,011	174
減損損失	19,089	20,244
店舗閉鎖損失	893	1,740
早期割増退職金	309,592	-
特別損失合計	331,587	22,159
税金等調整前四半期純損失(△)	△325,338	△216,765
法人税等	△105,751	42,205
四半期純損失(△)	△219,586	△258,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△219,586	△258,971



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△219,586	△258,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109,196	9,169
繰延ヘッジ損益	△10,874	△4,643
持分法適用会社に対する持分相当額	△980	7,389
退職給付に係る調整額	1,475	△8,551
その他の包括利益合計	△119,576	3,365
四半期包括利益	△339,162	△255,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△339,162	△255,605
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	3,166,365	354,268	3,520,633
量販店	1,100,304	11,375	1,111,680
専門店、小売店その他	2,329,690	720,610	3,050,301
顧客との契約から生じる収益	6,596,360	1,086,254	7,682,615
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	6,596,360	1,086,254	7,682,615

(重要な後発事象)

該当事項はありません。